

内モンゴルにおける都市部従業員基本養老保険制度の問題研究

吉日格力更

(内蒙古大学 外国语学院, 内蒙古 呼和浩特 010021)

要旨: 中国の経済の体制改革①、構造調整②、経済モデルの変化③及び農村の労働力が都市に入る速度が増して行って、それを従って都市部基本年金制度が一連の問題に困られている。内モンゴルは 21 世紀初頭に高齢化社会に入り、経済がなお発展している段階に養老問題を迎えた。緊迫して来た年金問題に対処すると、難渋で薄弱である。だから内モンゴル都市部基本年金制度を発展する同時に研究する必要がある。本論文はまず内モンゴル自治区都市部基本年金制度に存在する問題を述べて、現状の要素を十分に考えて、関連な改革措置を探索し、制度の実施中に存在している問題及び社会の高齢化問題を緩結するために提案する。内モンゴルの基本養老保険制度の問題を緩結する意見を提出するのは、他の同じ発展水準の経済、同じ実施率の基本養老保険制度などの要素を備えている地域に参考と助けを提供し、全国の基本養老保険制度の研究の欠陥を補給することが出来る。

キーワード: 都市部基本年金制度; 制度カバー率; 高齢化; 定年退職年齢

中图分类号: D57

文献标识码: A

都市部従業員基本年金制度は、社会保険の種類の一つで、養老保険制度の改革を実行する以前は年金や定年費と呼び、つまり労働者年老又は労働能力を喪失した後に、彼らの持っている養老保険を享受する条件や資格に基づいて、職員の定年退職後の基本生活を保障するために、年金を通貨の形式で月賦または一括に支払う。中国の都市部従業員基本年金制度は、国营企業従業員の養老保険に広がって企業の従業員の退職後の基本的な生活を保障する。都市部従業員基本年金制度は外国のレベルを参照し、都市部基本年金制度とも言われている。

一、はじめに

内モンゴル自治区は、改革と発展のすべての側面を通じて基本年金制度にいくつかの成果を出している。しかし、労働者の増加、人口の高齢化及びシステムの実践における問題の様々な原因で、自治区の社会保障制度は大きな圧力に陥れてしまった。基本年金制度は経済や社会の平穩を安定させる上に重要な役割を果たしているため、その問題がますます注目されている。本稿では、内モンゴル自治区の都市部基本年金制度に存在している年金制度の実施率の不完全であることと、高齢化がそれに与える負担など二つの問題から整理し、社会現状を踏まえて改革措置を検討し、問題を緩結する提案を打ち出す。

(一) 存在している問題

1. 制度実施された領域が狭い

ここで二つの方面から示す。

第一に、年金保険加入意識は弱い。多くの職員は老い生活が自分自身からあまりにも離れており、保険をかけたくないと感じている。主に若い人たちである。その原因は、まず、社会保険と商業保険の使用を理解していない、それを同等と見なされ、そして商業保険のほうがよいと思う。商業保険の場合は、被保険者が退職前に死亡したなら保険金額を払い戻す、社会保険は何もない。次には、若い者はいつもジョブホッピングをして、自由に行動し、仕事は安定していない。仕事の場所が常に変更されるため社会保険移転の複雑な手順に迷惑を感じているのである。最後は、年金は15年間納め満ちたら退職後に年金を受け取れる。だから人々は中年になって年金を納付しても遅くないと思う。さらに中国は都市と農村の二重システムがあり、ほとんどの流動職員と単純労働者は農村部に属している。当面、農村部の年金制度と都市部従業員基本年金制度は非常に異なっており、多くの農村部は新しい農村部の年金制度を設立していない及び年金を理解していないため、これらの人々は年金保険に参加しないことを選択する。

2. 賦課率が高すぎる

「内モンゴル自治区企業従業員基本年金制度・自治区レベル方法」によると、都市部の自営業者と流動職員は全区の前年度在職従業員の平均賃金を納付基礎として、20%の年金を納める。その中の8%が個人口座に振り替えて、退職後に基本年金の計算方法に基づいて月受給額を受け取る。ところが、都市部の自営業者と流動職員に低所得層の割合が大部分を占めている。近年、内モンゴル社会平均賃金の上昇により、彼らの平均賃金の上昇水準は年金納付水準よりはるかに遅れている。都市部の正規労働者は、企業が社会統合口座の費用の20%を支払う、個々が個人口座の費用の8%を支払い限り、年金保険の利点を享受することができる。しかし、自営業者と流動職員は年金給付を享受するには、社会統合費用の少なくとも12%の費用を納付しなければならない。過大な支払い率は企業の労働コスト及び利益水準に影響を与えて、企業の発展チャンスを妨げており、たくさんの企業が無い知恵を絞るほど年金を逃れている。専門技術の仕事あるいは管理に関する作業を就職している職員は利益を創造できるから所属企業が年金料を納付し願っている。これらの職員が企業に収益を創造できるから。しかしサービス、当番、清掃などの作業に従事している従業員が、労働流動性の強くて、手続きは面倒で、単位の労働コストを引き上げさせるため、企業が保険部分のを支払いたくないのである。

3. 人口高齢化により基本年金制度の負担が重い

第一に、定年退職年齢は低い。中国は高齢化の最も速い発展途上国である、1人当たりの所得水準が超低の経済条件のもとで高齢化社会に入って、しかも高齢化のスピードが速くて、そして中国高齢化問題に対処する基本年金制度の構築基礎が薄い。ほかの国と比べると、先進国が1人当たり国民の所得水準が高い状態で高齢化社会に入って、経済の基礎は十分で、比較的健全な養老保険システムを確立していった。例えば日本の国民一人当たりの所得はもう1,689ドルに達した時に高齢化社会に入って、十分な経済実力を持って養老保険制度を実施した。中国は国民1人当たり所得の低レベルの場合に高齢化社会に入って、2000年に、65歳以上の人口が総人口

の7%を占めて、当時の1人当たりGDPが800ドルにも足りない。④だか中国が先進国に比べてより深刻な高齢化問題がもたらした年金問題や制度の整備と実施について治めるべきである。

生活水準の向上に伴い1人当たりの平均寿命が伸びている、最新の統計の結果によると、内モンゴル60歳以上人口は382.2万人に達し、総人数の15.5%割合を超え、全国平均高齢化レベルを超え、他の西部省よりもはるかに超えている。もし定年退職年齢を延長しなければ、退職者の年金受給時間を延ばし、年金支給額と財政補助金の支出を増加することになる。

第二に、早期退職の現象が深刻である。内モンゴルの現在の就業する圧力を緩和するため各種の政策的早期退職の方法を実施している、だが退職者の年金を受給が実際に定年後の仕事の価値を創造する価値より高めているため、有効に就職難問題を解決しなかって、養老保険制度の政策の実施に弊害をもたらした。中国『公務員法』及び労働人事部門の関連政策に公職者の早期退職に原則的な規範があるが合わせる操作性の政策を打ち出さなかったため、いくつかの単位と部門、早期退職の割合が高い。かつ、年齢を変更するや特殊な労働証明書を手に入れてなど非合法方式を通じて早期退職する現象もある。このような現象は制度の実施にも弊害をもたらした。

二、都市部従業員基本年金制度の問題を緩和する提言

第一に、制度の実施する領域を拡大し、都市農村統一の基本年金制度を構築する。内モンゴルの基本年金制度は全てに省レベルの統合を実現したと発表したけれども、大量の自営業者と流動職員及び農村入城就職者たちが制度以外にいたので制度のカバーを拡大することが重要である。内モンゴルの基本年金制度の加入条件を統一する、そして他の省の制度との関連や接続を維持して、内モンゴルの全ての職員及び省外の流動業者が全部参加できることを保証し、100%のカバー率を目指す。同時に、政府がインターネットを十分に利用し、制度の宣伝に力を入れて、社員の意識を高めて、積極的に保険に加入させられる。特に農村農民の就業人員が制度の意義に理解できなくて、制度の美点と欠点を分らない、且つ企業や社会保険機関に自分の保険のニーズを正確に提出できないから自分の利益を守ることもできなかった。年金制度は統一の納付基数、統一の納付割合と統一の標準の年金待遇を施行するべきである。年金待遇の平穏な接続レベルを保証し、同時に養老保険基金の支払い項目と基礎年金の調整政策を統一に制定する。

第二に、退職年齢を延長する。定年退職年齢を延長するのは中国の自身の社会現状と海外の優秀な経験研究にもとづいて施行された政策である。それぞれの国は社会の予想寿命の長短及び年金基金の貯蓄状況によって、退職年齢を調整する。統計によると、自治区成立する前に、平均寿命は35歳で、自治区成立よりいち倍激増した。

少数民族地区としての内蒙古自治区に養老保険事業を発展するのは民族団結を促進する及び社会公平と社会安定の需要である。

内モンゴル自治区が地方的な政策を打ち出せるけど、すべての政策は、国家から直接に指定され、内モンゴルの都市部従業員基本年金制度は国家とシンクロして発展する。基本年金制度をさらに整って、従業員の給料と保障レベルを高めるべきである。

従業員間の賃金格差を縮小し、健全な法律を確立し、宣伝力の向上などを高めるなどの措置を通して職員の参加意識を高めて、賦課率を調整して制度のカバー率を広げて、同時に定年退職年齢を延長し、早期退職の現象を抑えて高齢化の制度に与える影響力を低下する。都市部基本年金制度を一層完璧しなければならない。内モンゴル養老保険事業の各方面にまたおおくの問題があるけれど、積極的に対応して、解決に努力を込めれば、良い成績を得ることができると思う。

注釋

①生産関係は必ず生産力性質に適応するという客観的法則の要求に応じて、社会生産力の発展に適応できない国民経済の管理制度と管理方法に改革を行うこと。

②経済の構造調整とは、国家は経済的の、法律的のまたは必要な行政の手段を運用して、既存の経済構造の状況を合理化③と完備化して、さらに生産力の発展に適応する過程である。

経済モデルの転換とは経済は単体から複合体に、計画から市場に最終は世界一体化に渡るプロセスである。

④李小. 中国の都市部基本年金制度の完備。

收稿日期：20147-11-13；

作者简介：吉日格力更（1994-），女，蒙古族，内蒙古鄂尔多斯市鄂托克旗乌兰镇人。内蒙古大学外国语学院2017级硕士研究生，研究方向为社会保障。